

カンチエンジュンガ(8598メートル)を望む—ガントクから



## 山に憧れる

飯田 記子

「夏は来ぬ」と一番に感じるのは、遠くの青い空に白い入道雲が沸き上がるのを見つけたときである。その下に雪のある高山を想像して行きたいという憧れが頭を擡げる。登山というものの、私にとっての始まりは、大学一年生の夏の磐梯山にあった。数日降り続いていた雨が、登山日の朝にようやく上がった。曇り空の下をぬかるみに足を取られながら登って行くうち、霧に取り巻かれた。下から見ていた雲の中に入ったのだと気付いて、何だかわくわくしてきた。頂上に着く頃、見る間に霧が晴れ、猪苗代湖を始め裏磐梯の湖沼群など三六〇度の展望が開けた。この初めての登山で、霧がシューシューと音をたてて流れること、下界とは違う風の爽やかさを知り、北アルプスを中心に登山を楽しむようになった。

樹林帯や草原、森林限界を抜けた乾いた岩の世界、それぞれに棲む動植物、雲や風など山を構成するあらゆるもの——美しいものや快いものばかりではない——に出会ううちに、登山の楽しみは「山に在る」ことで、そのために「登る」のが私の登山であることが、はつきりしてきた。この考えは、山に関連する書物を読むことによって強められた。先鋭的な登山の場合でも、厳密な記録ではなく紀行風に書かれたものには、山に在ることの楽しみが随所に読み取れることがよくある。これは著者である登山家の資質によるものと思いが、そういう登山家には敬愛の念を覚える。

もともと趣味の第一は音楽で、登山は第二であったから、何をしても山というわけではない。行けないときは、本や写真で気持ちを抱かされる。その代わり、山への憧れは層々大なる。しかも不特定ではなく、特定の山に対して想いが募ることになる。

こうしていつ頃からか、登山は無理でも、ヒマラヤの山々を間近に眺めたいという憧れを抱くようになっていた。そして、トレッキングという、テントに泊まりながらヒマラヤ山麓を歩いて高峰を眺める旅の仕方を見つけて参加するようになった。

首都カトマンズ、一度目のポカラ、アンナプルナ、ダウラギリ、二度目のエヴェレスト、ローツェ、ナムチェバザールなど、多くの本や写真集で知識として得たネパールの地名や風景を、一つ一つ実像と結び付けて改めて脳裏に焼き付けた。

そして、三度目。長い間待ったカンチエンジュンガは、少し遠目ではあったが、憧れの遠さに比べれば遥かに近く現実としてそこにあった。

未だ見ぬ憧れの山も、再会したい山も、国内外に多く在る。登れる山には山に在ること、登山が難しい山は間近に眺めることを目指して、憧れには際限がない。

ところで、ヒマラヤやアンデスでは、彼我の経済力の差に便乗するところ大で、些かの後ろめたさがある。しかし、憧れの強さには勝てない。それならばせめて、後ろめたさをしっかりと抱え、感謝を込めて実現した憧れを喜ぶことにしよう。

(総合情報学部教授)



過去の「関西大学通信」を調べても、巻頭のコラムがなぜ「千里眼」かは必ずしも明らかでない。おそろく千里を見通す眼力と、千里山を掛けたのではないかと想像される。今、千里山から発せられる情報は、文字通り千里の先を見通すものとなっているであろうか。「通信」はもとより、関大から世界に向けて発せられる情報は多く、また反響も大きい。問題は情報の質的向上にある。そのためには有形・無形の研究にもっと資金をつぎ込み、発信される情報の量を圧倒的に増やすことである。▼かつて文科系の学部と理科系のそれを比較し、前者はあまりお金が要らないとする考えが支配的であった。このような図式は今日では成り立たない。今やスノーという文科系人間と理科系人間をそのまま生み出すことが目的ではない▼理性と感性の備わった人間の育成こそが求められており、そのための研究・教育システムの確立が急務である。新学部への期待もさることながら、学問の属性や新旧にとられない、幅広い観点からの研究を積極的にサポートする態勢が必要である。真の意味での学際研究は、言うは易しく、行つは難い。

(S・U)

### HEADLINE

- 3 面 学長選挙を公示
- 4・5 面 特集
- 7 面 番外 関大フォーラム学生版
- 8 面 心に残った一冊
- 8 面 「おおさか文藝書画展」紹介



大学生活を振り返り

坪田 有紀

関大改革論に依頼されて... 私は法学部に在学中で...

そのうち要領よく単位を稼ぐ... 二年次生の夏休みに初めて自費...

も強い興味があり一時期その... 訪問ヨーロッパ大陸を放浪し...

ました。今日、国際社会の第... 試験も前年と変わらなそうです...

昭和三年代の後半は大平... フツと占められている。そのな...

自分から他科他学部ではた... 自分からはひとつにはすぎず...

深夜の痛毛、風鳥、飯後... 「毎夜、自習し、ルチ...

「大学」が新鮮なのは、規... 時代の流れと社会環境の大...

「21世紀の社会」への対応... 「21世紀の社会」への対応...

か、あるは教授側からも... 最後は少くも理想の先生像と...

「21世紀の社会」への対応... 「21世紀の社会」への対応...

今、私たちにできること

武田 理恵

「総合情報」という時代の... 「総合情報」という時代の...

「総合情報」という時代の... 「総合情報」という時代の...

「総合情報」という時代の... 「総合情報」という時代の...

「総合情報」という時代の... 「総合情報」という時代の...

「総合情報」という時代の... 「総合情報」という時代の...

「総合情報」という時代の... 「総合情報」という時代の...

「総合情報」という時代の... 「総合情報」という時代の...

「総合情報」という時代の... 「総合情報」という時代の...

「総合情報」という時代の... 「総合情報」という時代の...

「総合情報」という時代の... 「総合情報」という時代の...

関大フォーラム



関大フォーラム 学生版

番外

「あるべき大学」を求めて... 「あるべき大学」を求めて...

「あるべき大学」を求めて... 「あるべき大学」を求めて...

「あるべき大学」を求めて... 「あるべき大学」を求めて...

「あるべき大学」を求めて... 「あるべき大学」を求めて...

「あるべき大学」を求めて... 「あるべき大学」を求めて...

「あるべき大学」を求めて... 「あるべき大学」を求めて...

「あるべき大学」を求めて... 「あるべき大学」を求めて...

現代教師かたぎ

私事ではあるが、中学生の... 先生とは何かあるべきであ...

関大の教師に望むこと

坂爪 剛

関大生になつてまた二年と... 二か月の間に「現代教師か...

このために「現代教師か... 二か月の間に「現代教師か...

えんか、思い、排他的な... えんか、思い、排他的な...

えんか、思い、排他的な... えんか、思い、排他的な...

えんか、思い、排他的な... えんか、思い、排他的な...

えんか、思い、排他的な... えんか、思い、排他的な...

えんか、思い、排他的な... えんか、思い、排他的な...

えんか、思い、排他的な... えんか、思い、排他的な...

えんか、思い、排他的な... えんか、思い、排他的な...

えんか、思い、排他的な... えんか、思い、排他的な...

えんか、思い、排他的な... えんか、思い、排他的な...

えんか、思い、排他的な... えんか、思い、排他的な...

私の関大改革論

私の望む関西大学

久野 晴二郎

私には関大が大好きで... 私には関大が大好きで...

私には関大が大好きで... 私には関大が大好きで...

私には関大が大好きで... 私には関大が大好きで...

私には関大が大好きで... 私には関大が大好きで...

私には関大が大好きで... 私には関大が大好きで...

私には関大が大好きで... 私には関大が大好きで...

私には関大が大好きで... 私には関大が大好きで...

私には関大が大好きで... 私には関大が大好きで...

私には関大が大好きで... 私には関大が大好きで...

私には関大が大好きで... 私には関大が大好きで...

私には関大が大好きで... 私には関大が大好きで...

私には関大が大好きで... 私には関大が大好きで...

議論百出の場に

鈴木 成

議論百出の場に... 議論百出の場に...

議論百出の場に... 議論百出の場に...

議論百出の場に... 議論百出の場に...

議論百出の場に... 議論百出の場に...

議論百出の場に... 議論百出の場に...

議論百出の場に... 議論百出の場に...

議論百出の場に... 議論百出の場に...

議論百出の場に... 議論百出の場に...

議論百出の場に... 議論百出の場に...

議論百出の場に... 議論百出の場に...

議論百出の場に... 議論百出の場に...

議論百出の場に... 議論百出の場に...

大学教授「すき焼き」論

王生 早苗

大学教授「すき焼き」論... 大学教授「すき焼き」論...

大学教授「すき焼き」論... 大学教授「すき焼き」論...

大学教授「すき焼き」論... 大学教授「すき焼き」論...

大学教授「すき焼き」論... 大学教授「すき焼き」論...

大学教授「すき焼き」論... 大学教授「すき焼き」論...

大学教授「すき焼き」論... 大学教授「すき焼き」論...

大学教授「すき焼き」論... 大学教授「すき焼き」論...

大学教授「すき焼き」論... 大学教授「すき焼き」論...

大学教授「すき焼き」論... 大学教授「すき焼き」論...

大学教授「すき焼き」論... 大学教授「すき焼き」論...

大学教授「すき焼き」論... 大学教授「すき焼き」論...

大学教授「すき焼き」論... 大学教授「すき焼き」論...







今年は関西大学図書館の創設八〇周年に当たると同時に...

大阪は良港・堺を擁し、天下の台所として発展し、町人の経済力を背景に、江戸とはまた一味異なる自由闊達で...

『おおさか文藝書画展』紹介

吉田永宏



展示会場に掛かる芝居の絵看板『金鳥玉兎倭入船』(137×169cm、嘉永5年)

くの文人・芸術家の業績の顕彰と、埋もれた才能の発掘を目的に、江戸末期より昭和に至る各種資料を『大阪文藝資料』の名のもとに、昭和五十八年度から積極的に蒐集を開始した。ともすれば忘れられがちな大阪の作家たちを再評価、顕彰するとの趣旨で、大阪の作家・画家・芸能人等の作品、或いは大阪を題材にした作品の広い蒐集がその内容であり、大阪に位置する大学としての使命と責任とにおいての意図に基づき蒐集の作業である。繰り返して述べるが、本展は、図書館創設八〇周年及び文学部創設七〇周年を機に、社会に「開かれた大学」を志向する事業の一環として、その所蔵資料を広く一

一般に公開し、改めて大阪の文化・芸術の理解を促進しようとするものである。 【展示内容】 (一) 導入部 本展の開催趣旨を明らかにする大西昭男学長の挨拶パネル及び絵看板「金鳥玉兎倭入船」とから成る。 (二) 近世・近代の絵画 江戸中期から明治・大正・昭和にかけての絵画が、四つのコーナーに分けて展示される。おおよそそれ以降の上方の浮世草子、読本などを展覧する。近世小説(西鶴、西鶴以降の浮世草子)、前期読本(都賀庭鐘、上田秋成)、後期読本(岡田玉山、松川半山)と続くが、これに後期読本では、その絵師にスポットが当てられる。また、大阪の地誌・風俗にも見るべきものが多い。近世演劇は浄瑠璃と歌舞伎で構成されるが、歌舞伎については、大坂の二大劇場である角の芝居・中の芝居を中心に、顔見世番付、役割番付、辻番付、直木賞・芥川賞の作家...

- ③ 野野浩二と上小剣(大正期の文学)——上小剣、宇野浩二、石丸権平
④ 大阪を描いた作家——岩野泡鳴、泉鏡花、谷崎潤一郎、水上瀧太郎
⑤ 昭和の詩人——百田宗治、安西冬衛、三好達治、小野十郎、伊藤静雄、田木繁、杉山平一
⑥ 北條秀司と演劇——中村吉蔵、食満南北、北條秀司、長谷川幸延、森本薫
⑦ 直木賞・芥川賞の作家——

絵巻など当時の舞台そのものがリアルタイムで理解されようし、ほかに中村歌右衛門関係資料、浄瑠璃、役者絵画などが数多く紹介される。

『おおさか文藝書画展』紹介 (続)

直木三十五、岡田誠三、源氏鶏太、山崎豊子、今東光、黒岩重吾、佐藤愛子、有明夏夫、難波利三、五味康祐、高橋三千綱、宮本輝
⑧ 藤沢桓夫と武田麟太郎——藤沢、武田の他に長沖一織田作之助と昭和十年年代の作家——織田作之助、井上友一郎に折口信夫
(同時開催)
ましかどキャンパス
(同南館四階特別室)
入試説明会・個別相談会を実施(高・中を含む)

名譽教授 谷沢永一他著 『日本人の品格』

五人の著者がそれぞれ、イギリスと日本の国家と歴史、甘えと性格、嫉妬、教育、レジャーを切り口に「品格」という人間の根源的テーマに迫っている。この「品格」というものは、珍らしい初版本などには無論のこと、原稿、書簡その他入手し難い手蹟も多く展示され現在では既に稀覯本に属する『えんぴつ』の全冊揃(図書館所蔵等も展示され、十分な内容を備えたものと言えよう。なお本展のガイドブックとして、詳細な「おおさか文藝書画展図録」が刊行されるので、併せて一読を参照頂ければ幸いです。(文学部教授)

文学部教授 野村幸正著 『かかわりのコスモロジー』
「認知と臨床のあいだ」
関西大学出版部(二〇〇〇円)

新刊紹介

現在、認知科学は、多様でゆたかな混乱の状態にある。逐次の記号処理モデルを基礎に統一なところの科学が可能だとする正統は、ニューロ、ギブソニア、状況論など、周辺からの攻撃で、ずたずたにされたが、あたらしい正統はまだあらわれていない。著者は、はやくに正統的な記憶研究で一家をなしたあとの、このころの科学のあたらしいパラダイムをもとめて模索をつづけてきた。わざ、伝授、未知の構想、身体、道具、自己、風土、インドなど探求の対象は多岐にわたる。わざや伝授のように、具体的な研究としてすでにおおきな影響をあたえているものもあれば、基本的なアイデアの展開をはかっている段階のものもある。一貫しているのは、かわりななかで包括的にこころをとらえようとすることと、その中で、歴大な資料を入念に整理されての論著で、研究者の

『現代経済学』

本書は、平山氏を始めとして、いま我国の経済学界で最も精力的に活躍されている四氏によつてのものである。経済学のコアは何といつても、ミクロ経済学とマクロ経済学である。学部の一、二年生はこの部分をきっちり勉強してほしいのであるが、本書はこのコア的な部分をやさしく解説すると共に、それらが現実のさまざまな問題にいかに対応できるかを手にとるようになっている。また類書にない新鮮な印象を受けるのは、価格硬直性の新しい理論、医療保険の経済学、環境権の市場売買などの新しいトピックスや、練習問題とその解答、具体的な問題についてのコンピュータ・プログラムなどが用意されているからである。平山氏は「国民所得と利子率」、「貨幣と労働」と管理、組織と人間行動の用語をこのいずれかの範囲に属させて説明している。しかも、各用語には、これと関連する用語が示されており、

『現代日本出生力分析』

この賞は、日本人口学会授賞「現代日本出生力分析」が隔年ごとに、わが国における人口学の大発展に大きく貢献する者に対し、三年度「現代日本出生力分析」の賞を授与する。授賞式は六月三日(金)の同学会総会で行われた。

知という観点から、わかりやうくまとめられている。海外の権威をなさることなく、まともなまなで、独自の探求は疑わしくみられるが、オリエントナリな貢献は、独自の探求と時代の問題状況が出会ったところから生み出された。著者の探求の中間的総括というべき本書をよんで、状況論あたりでそうした幸福な出会いが生ずるかもしれないという印象をもった。(雨宮俊彦)

『基本経営学 用語辞典』

「経営学用語辞典」という直感的な経営学上の用語が多数、五十音順に並べられている書物だと思われるので、このコア的な部分をやさしく解説すると共に、それらが現実のさまざまな問題にいかに対応できるかを手にとるようになっている。また類書にない新鮮な印象を受けるのは、価格硬直性の新しい理論、医療保険の経済学、環境権の市場売買などの新しいトピックスや、練習問題とその解答、具体的な問題についてのコンピュータ・プログラムなどが用意されているからである。平山氏は「国民所得と利子率」、「貨幣と労働」と管理、組織と人間行動の用語をこのいずれかの範囲に属させて説明している。しかも、各用語には、これと関連する用語が示されており、

『現代経済学』

本書は、平山氏を始めとして、いま我国の経済学界で最も精力的に活躍されている四氏によつてのものである。経済学のコアは何といつても、ミクロ経済学とマクロ経済学である。学部の一、二年生はこの部分をきっちり勉強してほしいのであるが、本書はこのコア的な部分をやさしく解説すると共に、それらが現実のさまざまな問題にいかに対応できるかを手にとるようになっている。また類書にない新鮮な印象を受けるのは、価格硬直性の新しい理論、医療保険の経済学、環境権の市場売買などの新しいトピックスや、練習問題とその解答、具体的な問題についてのコンピュータ・プログラムなどが用意されているからである。平山氏は「国民所得と利子率」、「貨幣と労働」と管理、組織と人間行動の用語をこのいずれかの範囲に属させて説明している。しかも、各用語には、これと関連する用語が示されており、

今年から新たな試みとして、「関大フォーラム」の欄が設けられ、はや五回目を迎えた。今月号では学生諸君の声を反映させるために、「番外関大フォーラム学生版」の特集を組んだ。ただ、残念なことには編集の時間上の制約で、いずれも広報委員会から原稿の執筆を依頼せざるをえなかった。

編集後記

公算することにより、幅広く意見を読者から得られるだけでなく、「関大通信」に対する関心を高める上でも役に立つと思う。今後、その実現に向けて検討していきたい。(植木・王)

今月の表紙

飯田記者(いいた・のりこ)教授 専門はオペレーティング・システムの設計と性能評価。もう一つは海洋物理学。京都大学大型計算機センター、学術情報センターを経て総合情報学部へ。

